



たらし

平成 26 年

9 月号

平成26年 9月1日発行

No.486

発行/多良間村役場・編集/総務財政課広報係 〒906-0692 宮古郡多良間村字仲筋 99-2 ☎0980-79-2011



八月おどり

多良間村は、
39番目の

「日本で最も美しい村」

連合に加盟
しています。



the most beautiful
villages
in japan

豊年満作を願い

多良間村が誇る八月踊りが、今年も天候に恵まれ盛大に執り行われた。五穀豊穡と豊年満作を願い住民が一体となり開催、遠くは岩手県宮古市から20名の団体等、郷友の方や観光客らが大勢訪れた。

1630年代の人頭税時代から祭事を行い、豊年を祈願し奉納踊りを行ったことが由来とされる。いにしえより、島民は、自然の猛威にも屈することなく、ゆいまゝる精神と郷土愛の精神をもって、四百年余も祭を継承してきた。この祭は子々孫々まで継承していきたい。



字仲筋



多良間村
八月踊り

五穀豊穰と

字塩川



郷友会
紹介企画
第4回

関西多良間郷友会

会長 下地 勝二

ごあいさつ

私達、関西多良間郷友会は、昭和11年6月11日創立で今年78周年を迎えました。会員世帯数50世帯、2世3世を含めて60〜70名の、関西在宮古連合会としては最も小さい郷友会です。年間行事として年1回の総会を行っています。

後継者の育成が急務なのですが近年は、美里春方さん、垣花常信さん、渡久山春恵さん、藤岡弘重さん等の大先輩方がなくなられ、2世3世の方々との絆を深めていく以外に会の発展はないものと感じていますが、但し、私は生り島、「多良間」が大好きです。去る3月25日に孫2人を連れてジージのふるさと多良間島に帰郷し、あらためて島の発展のために努力して参りたいと思いました。私たち関西多良間郷友会は、創立70周年を記念して、下

記のデザインでプリントしたス
ポーツタ
オルを記念品
として贈呈
しました。



最後に左記の与那國小唄の替え歌として、多良間島小唄として総会の時に小学校、中学校の校歌とともに歌っています。

♪♪多良間小唄♪♪

1、波にボッカリ浮く多良間島♪
島は良い島 無冬の宝庫♪

唄の情けの 唄の情けの パラダイス♪
サノサツサ ソレサツサ コレサツサ♪

2、白き真砂につつまれている 力あふれる♪
珊瑚の群れに なごもゆたかな♪

なごもゆたかな 多良間島♪
サノサツサ ソレサツサ コレサツサ♪

3、一度おいでよ 多良間島へ♪
八月踊りは われらの誇り♪
文化花咲く 文化花咲く 多良間島♪

多良間良い島 文化島 サノサツサ♪
4、夕日暮れゆく ナガグー見れば♪

恋し乙女の 多良間小唄♪

いつかふけゆく いつかふけゆく

島の夜♪

多良間良い島 恋の島 サノサツサ♪



寄付金のお礼

石嶺 眞一様（うるま市在）

ありがとうございました。

広報たらま 寄付金のお礼

多良間島夏祭り実行委員会様

（代表 知念博正様）

荷川取 勝彦様（うるま市在）

渡久山 春吉様（宮古島市在）

下地 ハマ子様（那覇市首里在）

ありがとうございました。

香典返しがありました

去る8月に字仲筋の石垣美代子様より、
故石垣守夫氏の香典返しが多良間村役場にありました。

ありがとうございました。

J A おきなわ多良間
家畜市場での8月期肉
用牛競りが開かれ、子
牛1頭当たりの平均価
格が48万2000円台
の高位が付いた。子牛
180頭が上場されず
べてが競り落とされた。
1頭平均価格が去勢で
51万4000円余、メス
で44万7000円余。ま
た、子牛1頭あたりの
最高価格が70万2000
円で販売された。

畜産農家の皆さんが丹
精込めて飼育した牛が高
値で取引され、農家の方
達はほくほく顔である。
今後とも1戸1頭増頭を
目指し多良間村の畜産を
伸ばしていきたいと畜産
農家は語る。

子牛競り値安定 畜産農家ほくほく



8月牛セリ結果 (26年8月19日実施)

◇全体

区 分	去 勢	牝	合 計
上場頭数	94	86	180
成立頭数	94	86	180
成立(%)	100	100	100
販売価格(円)	48,326,760	38,499,840	86,826,600

◇12ヶ月以内

区 分	去 勢	牝
あ 最高	683,640円	702,000円
一 最低	286,200円	216,000円
た 平均体重	250kg	230kg
り 平均価格	514,114円	447,673円

自動車の使用者は、自動車の不具合による交通事故や公害の防止を図る観点から、自動車の適切な保守管理及び点検・整備(日常点検・定期点検等)を実施することが義務となっています。

内閣府沖縄総合事務局では、自動車の使用者に自動車の点検・整備を確実に実施して頂くため、本年も9月と10月の2ヶ月間を自動車点検整備推進強化月間と定め、関係機関及び団体の協力のもと「自動車点検整備推進運動」を実施します。

「人と車と環境の調和がとれた車社会」を形成するためには、自動車の使用者一人一人が自己の責任において、日頃から自動車の保守管理を確実に実施することが大切です。

自動車使用者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

自動車の点検・整備の確実な実施についで



【お問い合わせ先】
内閣府沖縄総合事務局
運輸部車両安全課
TEL:098-866-1837
FAX:098-860-2369

自衛官候補生2次募集のご案内

○募集種目(採用試験)

種 目	受 験 資 格 (年齢については、起算日が異なります。細部は問合せ下さい。)	受 付 期 間	試 験 日	試験会場
自衛官候補生 (男子)	18 歳以上 (高卒見込も含む。) 27 歳未満	9月10日(水)～ 11月10日(月) 締切	11月15日(土)	「平良地方合同庁舎」 宮古島市平良下里 1016
			11月22日(土)	「石垣地方合同庁舎」 石垣市登野城 55 「陸上自衛隊那覇駐屯地」 那覇市鏡水 679

○連絡先 那覇市前島3丁目24番地3-1 自衛隊沖縄地方協力本部 (098-866-5457)



広報たらまのCD-ROMを 販売しています

多良間村役場では、「広報たらま」のバックナンバー
(平成8年11月～平成16年12月まで)を収録したCD-ROMを販売しています。
動作環境: Windows2000/XP/VistaなどWindows PC

■定価2,500円 (送料別) 詳しくは、多良間村役場 **0980-79-2011** まで。

結核を知ろう!「長引く咳は“風邪”…“結核”かも!？」

結核は、過去の病気ではありません。

明治時代から昭和20年代までの長い間、「国民病」「亡国病」と恐れられていた結核。50年前までは結核で亡くなる人が年間10数万人に及び、死因原因の第1位でした。

日本では今でも、年間20,495人(1日に58人)の新しい結核患者が発生し、2,084人(1日に6人)が命を落としており、決して過去の病気ではありません。

～特に高齢者は注意が必要です～

新規結核患者の3人に1人は80歳以上の高齢者です。高齢者は若い頃に感染し、眠っていた結核菌が体力や免疫力が落ちるにしたがって目を覚まし、発症することがあります。歳をとると結核の症状を自覚しにくく、手遅れになりやすいため特に注意が必要です。



複十字シール運動キャラクター
結核と闘う「シールぼうや」

こんな時は病院へ!

結核の初期症状は風邪とよく似ていますが、風邪のようで風邪じゃない、人から人へとうつる感染症です。怖いのは気づかずにうつしてしまうことです。「せき、たん、発熱、だるさ、体重減少、胸の痛み」などの症状が2週間以上続いたら、早めに医療機関を受診しましょう。



結核の予防

～普段から健康的な生活を心がけ、免疫力を高めましょう～

◆症状がなくても、年に1回は、職場や地域で行われている**健康診断(胸のレントゲン検査)**を受けましょう。

◆抵抗力の弱い赤ちゃんは、結核に感染すると重症になりやすく、生命が危ういことすらあります。予防するには**BCG接種を受けましょう。**

～喫煙は結核の大きな危険要因～

◆喫煙者の結核の感染、発病のリスク、結核による死亡率を高めるだけでなく、受動喫煙も発病のリスクを高めます。**ご自身や周りのためにも禁煙しましょう。**



◆問い合わせ◆宮古保健所 健康推進班 電話：73-5074

10月は臓器移植普及推進月間です。～意思表示していますか～

臓器移植は病気や事故で臓器の機能が低下した方への根治療法として行われるものです。

現在沖縄で約300人の方が腎臓・角膜等の移植を希望して登録中ですが、死後臓器を提供してくださる方は少なく、移植の機会が少ないのが現状です。

最も移植希望登録者が多い腎臓の場合、沖縄で255人の方が登録しています。(昨年末データ)

1人の献腎提供により2人の腎不全患者が人工透析から解放されますが、提供者は毎年数人。県内で献腎移植を受ける方は毎年平均で5人ほどです。

臓器提供にはご本人とご家族の意思が大切です。ご本人の意思がわからない場合、臓器を提供するかどうかは、ご家族で決めることになります。「臓器を提供する」「提供しない」という自分の意思を書いてご家族に伝えましょう。

健康保険証や運転免許証の裏面をご確認ください。

**あなたの意思で
救える命があります。**



以下いずれかで意思表示できます。

- ①健康保険証裏面
- ②運転免許証裏面
- ③臓器提供意思表示カード
- ④インターネットで登録

<http://www2.jotnw.or.jp>

お問い合わせ：沖縄県臓器バンク 098-879-6311

8月

世帯数と人口 (平成26年8月末現在)			
総世帯数	527 (2)	総人口	1,242 (1)
男	667	女	575
区 別	人 口	世帯数	
土 原	70 (-1)	32 (0)	
天 川	103 (0)	45 (0)	
津 川	117 (-3)	54 (-1)	
宮 良	77 (0)	31 (0)	
嶺 間	153 (1)	66 (1)	
大 道	196 (1)	90 (0)	
大 木	305 (1)	118 (1)	
吉 川	216 (2)	87 (1)	
水 納	5 (0)	4 (0)	
出 生	0	死 亡	0
転 入	1	転 出	0

() 内は前月比

緊急ダイヤル	
火 災 村 消 防	(79-2619) 119番
警 察 官 派 出 所	(79-2010) 110番
急病人 (1) 多良間診療所	79-2101
(2) 時間外	090-6862-6490
(3) 役場住民福祉課	79-2623
救急車要請 総務財政課(消防)	79-2619
歯科診療所医師	79-2162
停 電 沖縄電力多良間営業所	79-2147
断 水 役場住民福祉課	79-2623
家畜疾病 役場産業経済課	79-2503
ガス専用JA多良間	090-6859-2355

救急に関すること(8月)

◆時間外救急受付

19件

◆救急車出動

1件

◆ヘリ搬送

1件

救急車要請:

79-2619

急病人時間外:

090-6862-6490

困ったら一人で悩まず行政相談 ★行政相談週間はじまる★

◎相談内容

医療保険、年金、老人保険、福祉、雇用保険、交通安全、恩給、公害、戸籍、道路、環境衛生、登記など

◎行政相談委員が相談に応じています。

相談は無料・秘密厳守です。

◎国民と行政を結ぶホットライン

総務省沖縄行政評価事務所の行政苦情110番

TEL:0570-090110・098-(867)1100(17:15~翌8:30までは留守番電話) FAX:098-866-0158

多良間村の行政相談委員は羽地邦雄さんです。

(総務大臣委嘱) 連絡先TEL:79-2023

*行政相談所

日時：平成26年10月31日(金)

場所：村役場1階会議室

村長のたうけーむぬゆむ。(ひとりごと)

今年の八月踊りは天候にも恵まれ、三日間とも盛会であった。姉妹市村である岩手県宮古市からも「報恩の翼」19名の皆さんが訪れた。多良間島に流れ着いた善宝丸の船頭「善兵衛」さんの玄孫(やしやご)に当たる兄妹お二人も初めて来島された。もし、善兵衛さんが生きて帰らなければ私たちは生まれてこなかった。報恩の碑の前で合掌する夢が叶えられた。八月踊りにも感動した。と喜んでおられた。八月踊りに島外から訪れた方は560名余であった。

さて、八月踊りでは、若衆踊り、女踊り、二才踊り、狂言、組踊りと続くが、メインは組踊りである。その組踊りで道行歌として使われるのが、「金武節」である。金武節は、二十五首あり、「執心鐘入」や「手水の縁」など少なくとも十二番の組踊りに使われている。

多良間の八月踊りでは、仲筋「忠孝婦人」で乙樽が谷茶を尋ねる道行きを使う。替え歌として「胸に物思ハ、あよも道程も、覚らすにつきやさ、本の城」意味…胸中に物を思いながら歩いていくうちに、いつのまにか元の城(大川城)について。

塩川「忠臣身替」で亀千代が若按司を尋ねる道行きでの替え歌「身替に出る、武士の義理やも、是までよとめは、ふやかれる袖に、かかるしら玉や、つつもかた」意味…身替に行くのは、武士の義理と知りながらも、別離の袖に、かかる

涙はどうしようもない。

多田名組では、千代松が多田名大主を訪ねていく道行きでの替え歌「おやの為やとて、やあかと我ないふたり、慈悲しらぬ敵に、くたて又いきよる」意味…親の為を思っ守役と私の二人は、慈悲しらぬ敵のもとへ降っていくのである。

仲筋「仲宗根豊親見組」のあふがまぐいがまの道行きは「干瀬節」の替え歌である。一般に歌われている「金武節」の本歌は次の歌詞で仲筋二番女踊りに踊られる。「こばや金武こばに 竹や安富祖竹やねや瀬良垣に 張りや恩納」

意味…くばの葉は金武村からとり、竹は安富祖竹で、骨組は瀬良垣でつくり、張りが出来上がったのは恩納である。つまり、「金武節」は金武から安富祖・瀬良垣を通り恩納に着くまでの道行きを、くば笠をつくる工程にたとえて詠んだものである。との説であり、組踊りで道行き歌として歌われているわけが理解できる。

また、金武節には伝説があるが紹介はいつかの機会としたい。



編集後記

☆島の大きな行事である八月踊りも快晴な天気の下、無事に奉納することができ、住民が一体となり豊作満作を願った。また島外から500人余の観客も訪れ踊りを堪能した。

☆さとうきびの植え付けもほぼ終えた頃でしょう。暦の上では秋であるが、まだまだ暑い毎日です。農作業中の体調管理は無理をせずに！

☆スポーツの時期です。運動会、駅伝、多良間島一周マラソン大会など多種ある。普段から練習を行い無理のないよう本番に挑んでほしい。

てるけん

多良間中2年

職場

体験学習



多良間村立中学校（校長池田満）では8月25日～28日の4日間、村内の企業・事業所で職場体験学習を実施した。

2年生の総合学習の一環で、勤労の尊さや楽しさ、厳しさ等を体験させ、今後の進路指導に役立てるなど、男子14人、女子15人は村内の企業・事業所で職場で体験することにより学習することができた。



*目的として

- ◎地域にある施設や職場に興味を持ち、適切な進路選択への意識を高め、自分の将来の生き方や、勤労の尊さを知る機会とする。
- ◎職場体験を通して、社会のルール・規律・礼儀・言葉使いの大切さを知る。
- ◎地域の職場で働く人々と接することにより、地域の良さを学び、地域理解力を深める

